

Top Interview

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／ツチダユリコ

学生に寄り添う 徹底した少人数教育が 人を成長させる

1 926年開校の山形裁縫女
学校を源流として、66年に
短期大学を開校以来、本学は女子を
中心に有為な人材を輩出してきまし
た。そうした実績をもとに、より高度
な知識や技能をもった保育士や幼稚
園・小学校教諭を養成するため、東
北文教大学が開校したのは2010
年のことです。それから4年。今春、一
期生55人が卒業しました。進路の内
訳は小学校教諭が11人、幼稚園教諭
が8人、保育士が16人、そのほか公務
員、一般企業、大学院進学などで
す（14年3月時点）。こうした実績もさ
ることながら私が誇りに思うのは、ひ
とりとして脱落者を生まなかったこ
とです。最大の理由は徹底した少人

数教育にあるといえます。例えば1
年次の前期から始まる基礎ゼミで教
員ひとりが受けもつ学生は約6人。こ
れとは別にクラス担任もおり、今年度
から1クラス6人体制にしています。
通常の講義も最大で50人。教職員は
個々の学生の成績や出席状況を把握、
共有し、問題があれば学科長も交え
対策を講じます。基準の成績に満た
ない学生は教育実習に出さない方針
ですが、そのような学生に対する指
導も徹底的に行います。ある意味、逃
げ場のない環境です。私自身「凡人は
強制されて学べ」という言葉を肝に銘
じ学んできましたが、特に若いうちは
こうした環境も必要です。

半期に一度、就職についての意向調

査も実施します。その際、進路に迷う
学生も現れます。特に1年次から教
育ボランティアとして小学校で活動
をした学生のなかには「教員を目指
していたが向いていないことがわかっ
た」というケースもあります。そうし
た学生の心情を早めにつかめること
も少人数教育のメリットです。

金沢で過ごした学生時代、ある先
生から「分け登る麓の道は多けれど
同じ高嶺の月を見るかな」という歌
を教わりました。世の中にはいろいろ
な道がありまっすぐ進まなくても最
終的には目的地に辿りつくという意
味で、迷いのあった私は救われた気が
しました。本学もそうした道のひとつ
でありたいと思います。というのも、教
職を志望する場合、地元の国立大学
に進学するのが最短という考え方が一
部にあり、学力的に夢をあきらめてし
まう高校生がいるかもしれないからで
す。しかし道は無数にあります。

本学には付属幼稚園や関連保育
園があり、「12年間の連続した育ちを
学ぶ」という考えのもと、幼稚園・保
育所、小学校との連携教育に力を入
れています。そうした強みや、教職員と
の距離が近いという環境を生かし、活
躍してくれることを期待しています。

東北文教大学
東北文教大学短期大学部
学長
鬼武一夫



【学長プロフィール】おにたけ・かずお●1941年生まれ。金沢大学理学部卒業。名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学。理学博士。名古屋大学理学部助手、名古屋大学医療技術短期大学部助教授、山形大学理学部教授、同生物学科長、同理学部部長、同副学長などを経て、2010年東北文教大学副学長。14年4月より現職。

【大学プロフィール】1966年山形女子短期大学（現 東北文教大学短期大学部）開学、2010年東北文教大学開学。東北文教大学に人間科学部子ども教育学科を、東北文教大学短期大学部に総合文化学科、子ども学科、人間福祉学科の3学科と留学生別科を設置。